

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	健康な食が健康な体を育む。～環境保全型農業の推進～
事業主体 (連絡先)	松川町 松川町役場産業観光課 (農業委員会事務局)
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,376,039 円 (うち支援金: 1,079,000 円)

事業内容

- ① 遊休農地対策として、農地を持たない方の農業への関心・取組を促すため、野菜づくり指南番組の制作・ケーブルテレビでの放映を実施した。菌ちゃん先生こと、吉田俊道氏の講演会及び圃場での体験会を実施し、食の安全・健康な土壌づくりについて学んだ。
- ② 環境保全型農業を目指し、自然農法研究開発センターの講師の皆さんに、有機栽培、自然農法についてのノウハウを実証圃場にて学んだ。生産者向け講演会としてSOFIX農業推進機構の久保教授の講演会を開催し、有機物の土壌診断について学んだ。
- ③実証圃場に栽培した作物を学校給食へ提供した。栄養士、搬入業者 (もなりん・学校給食会) の皆さんと、打ち合わせを行い、提供可能となった。



【ネギの圃場での研修の様子】

【目標・ねらい】

- ①啓発活動により、農業に触れてない皆さんにも関心を持ってもらう (講演会・野菜づくり番組)
- ②環境保全型農業の推進として、実証圃場での研修会で土壌づくり、地力向上のノウハウを学ぶ。
- ③子どもたちへの食育として、学校給食への提供&保育園児の体験

事業効果

- ① ケーブルテレビでの放送。全11回。問い合わせ等も増えた。区画割していたふれあいガーデンはすべてが埋まり、番組で紹介したはらぺこ君 (町で作っている生ごみたい肥) の売り上げが伸びた。研修会にはコロナ禍ではあったが各回70名ほどの参加があり、年配の方のみならず、親子での参加もあった。
- ② 実証圃場は5か所を設定し、栽培を進めながら土づくりを行ったり、土づくりをしてから栽培を始めるなど、指導を受けながら実施した。講演会などのPR効果により参加者も増えた。マニュアルは、デジタルにしたことにより、多くの方に見てもらえるものが完成した。SOFIX講演会には生産者 (果樹栽培) の皆さんに参加していただくことで、遊休農地対策として目指している内容を周知することに繋がった。
- ③ 学校給食へは7月から順に栽培できたものを提供した。目標にしていた数字には届かないが、新たな1歩を踏み出せた。保育園児の体験圃場では、ジャガイモ・カブを栽培し、コロナや、長雨の影響で全園の体験は実施できなかったが、食材を利用いただいた。

※自己評価【B】

【理由】
概ね計画していた事業が推進できた。町長を会長とする「ゆうきの里を育てよう連絡協議会」が発足し、今後取り組みを進めていく予定。

今後の取り組み

3年目の取り組みとなる、D o遊農?の番組作りでは、より、自然に優しい農法を伝えるため、緑肥やインセクタリアープランツを利用し、生物多様性、循環型農業による野菜づくりを提案する。また、引き続き、菌ちゃん先生による講演会、及び親子体験会の継続により、啓発活動を進める。実証圃場での研修会は2年目となり、1年目の取り組みを見直しながら研修を行う。参加者も増えるよう案内する。また、学校給食だけでなく、病院や、福祉施設への食材提供も検討する。町の総合計画では、SDG'Sに取り組み、持続可能な地域を構築していく方針で、持続可能な農業の推進につなげられるよう今後も取り組みを行っていく。